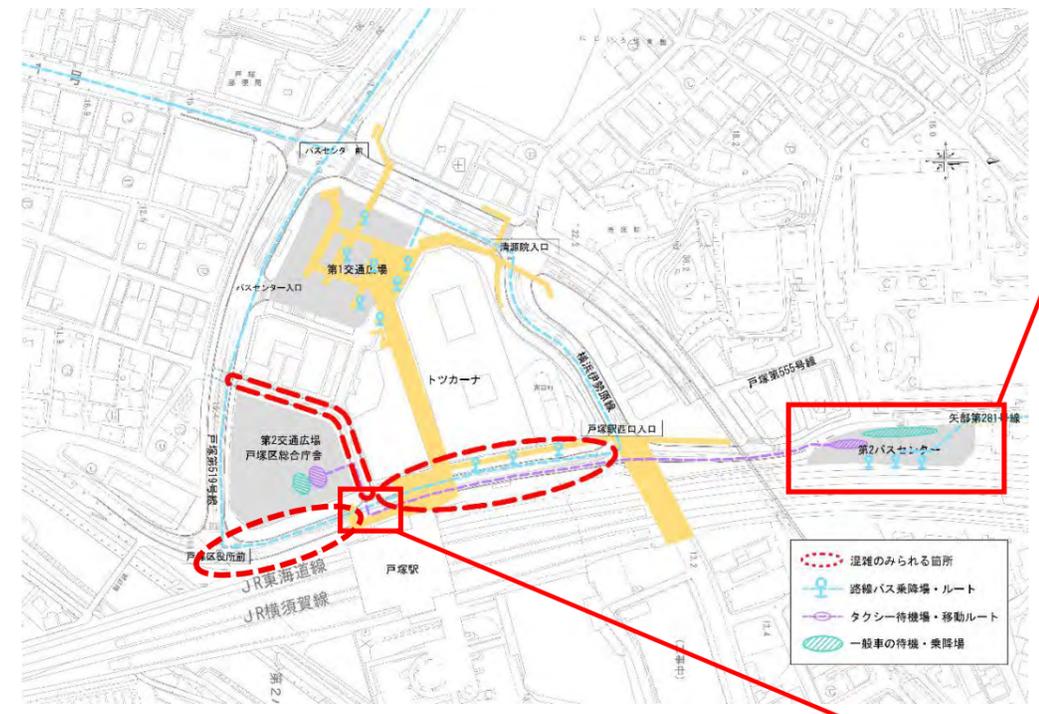


戸塚駅西口周辺の混雑緩和に向けた検討について

1 現況

西口駅前の戸塚駅前線は、朝夕のラッシュ時にマンション送迎バスを含む送迎車両の停車により、慢性的な渋滞が発生し、加えて、駐停車車両の前後で横断する歩行者も多く、危険性の高い場所となっています。

令和元年度に実施した戸塚駅前線での社会実験の調査結果では、「駐車車両がなくなりスムーズに走行できた」「対向車のはみだしがなくなり接触の危険が減った」など、マンション送迎バス乗降場整備、一般車乗降場利用促進及び一部区間の駐停車禁止の必要性が改めて確認されました。



戸塚駅西口周辺の現況

2 対応策(案)

令和2年度の連絡協議会の際に、西口周辺の現況課題に対し以下の対応策の方針を示しました。

■第2バスセンター拡張

- 第2バスセンターを拡張し、以下の対応を図ります。
 - ・マンション送迎バス乗降所の設置
 - ・安全な歩行空間の確保
 - ・各車両動線の分離を図ります。

■第2交通広場への積極的な誘導

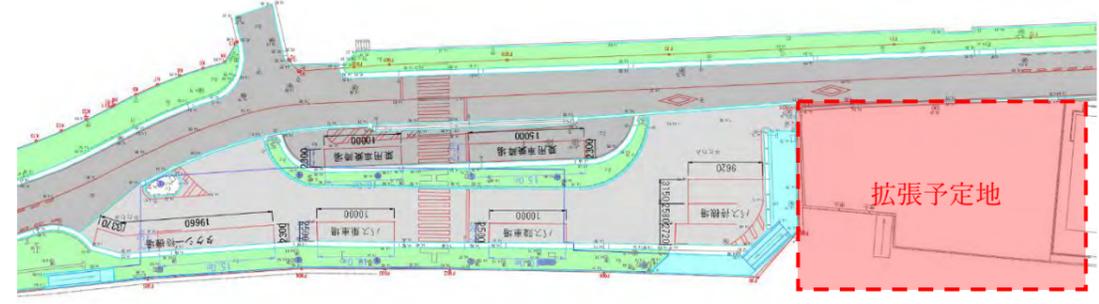
- ・第2交通広場の愛称命名やサイン更新による認知度の向上
- ・歩行者の立体横断等の対策

■道路交通法による交通規制

- ・駐停車禁止区間の追加

3 第2バスセンター拡張について

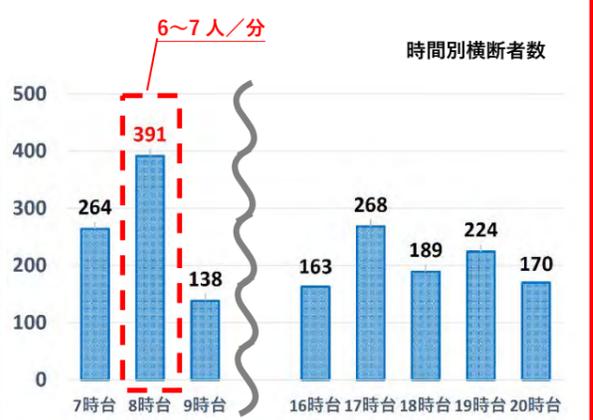
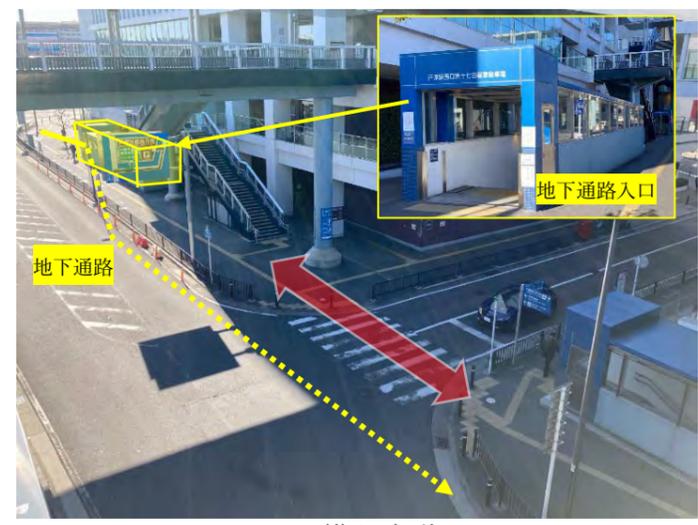
現在、神奈川県警と協議を行っており、第2バスセンターに隣接するJR東日本の用地の一部買収し、第2バスセンター内で新たにマンション送迎バス乗降場整備と一般車乗降場拡充を計画しています。



4 第2交通広場への積極的な誘導に向けた課題への対応について

第2交通広場の朝夕ピーク時の状況について、実態調査(令和3年11月5日に実施)を行った結果、同広場の流出入車両混雑の一因として、近接する横断歩道での歩行者の横断が最大で約400人/hになる時間帯があることなどを確認しました。

今後、歩行者横断の分散に向け、既存の地下通路の活用を図るため、安全に地下通路を利用するための誘導・サイン計画の策定を検討しており、現在、それに向けた調査結果の詳細な検証や、同広場利用者へのアンケートなどを実施しています。



5 今後のスケジュール

令和5年度末を目途に第2バスセンターの供用や第2交通広場の誘導、周辺道路の交通規制を予定しています。

